



イスラエル・パレスチナ：ガザ停戦協議

9月23日、イスラエルとパレスチナの代表団は、カイロでガザ停戦についての協議を行った。協議は、双方が停戦協議で議論されるべき事項を文書にして相手に渡すだけで終了した。本格協議は10月最終週から行われる予定である。8月26日から開始された無期限停戦では、停戦後1カ月以内にカイロで停戦内容の協議を開始する予定になっていた。23日の会合は、同日程に合わせて開催されたが、手続的な会合に終わった。

停戦内容の協議は先送りされた形であるが、ガザ復興についての協議は開始されている。エジプトとノルウェーは、10月12日にカイロでガザ復興支援会議を主催する。9月22日、国連、イスラエル、PAは、ガザに運び込まれる建設資材が、ハマースに流用されないための管理のメカニズムで合意したと発表した。国連総会の開催とあわせて米ニューヨーク市で、パレスチナ支援国会議が開催された。9月23日、パレスチナ自治政府のハムダッラー首相は、ガザ復興のための38億ドルの資金拠出を支援国に要請した。同首相は、サウジが5億ドルの拠出に同意したと述べている。

(中島主席研究員)

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799